



陽光

令和6年7月12日 第8号 文責 梶原 圭一



地域とともにある学校づくり

本校の教育活動は、たくさんの地域の方々に協力していただき、支えられて進めることができています。「こんな学習をしたい」「地域のこんなことを知りたい」という希望を校区の地域学校協働活動推進員の方に相談し、地域で協力していただける方を紹介してもらっています。地域の方の話を直接聞き、実際に体験させていただくことは、ふるさと菊陽のよさをより身近に感じるとともに、豊かな心を育むうえで大切な学習であると考えています。

本年度も3ヶ月ほどが経ちましたが、ニンジンについての調べ学習やトウモロコシの収穫体験、バケツ稲体験など、ふるさとの特産物や地域で収穫されているものに直接接触する体験活動でお世話になっています。また、調理実習や毛筆指導、水彩画の指導でも地域の方に来ていただき、ご指導いただいています。直接指導をしていただくことで、地域の方々の優しさに触れることができている、本当に有り難いことだと感じています。

本校の学校教育目標の実現に向けて、「ふるさと菊陽」の人やもの、伝統や自然環境等との関わりを大切に学習を積極的に進めながら、「ふるさとを知り、ふるさに学ぶ」機会を大切にしていきたいと考えています。その取組一つ一つが、地域を愛する心につながっていくことを願っています。

運動会の際に、6年生が「大好き 中部小学校」というメッセージを表現しました。「中部小学校が大好き 菊陽町が大好き」と言える子どもたちを育てていくために、これからも地域の方々の協力を得ながら、地域とともにある学校づくりを目指していきたいと思ひます。



子どもたちの姿をほめていただきました

7月4日(木)に菊陽町教育委員会の方々10名、7月8日(月)に菊池教育事務所の方々3名が本校を訪問され、子どもたちの学びに向かう姿をご覧になりました。どちらの訪問でも、子どもたちが落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組む様子を見られ、たくさんお褒めの言葉をいただきました。特に、「1年生の学習規律や姿勢が素晴らしい」という声を何人もの方から伝えられ、子どもたちの3ヶ月の成長を感じました。子どもたち同士が互いに意見を出し合いながら学び合う授業づくりに取り組んでいますが、学校全体がチームとなって取り組んでいることがよく伝わったとの意見をいただきました。6年生がタブレット端末に文章を打ち込む活動を行っていましたが、打ち込むスピードの速さに驚かされている方もおられました。また、さらにレベルアップするために力を入れてほしい部分についても助言いただきました。今後も、職員一丸となって、子どもたち一人一人の個性が中部っ子の育成を目指し、全力で取り組んでいきたいと思ひます。



<今後の主な予定>

7月19日(金) 前期前半終了日

7月20日(土)～8月26日(月) 夏季休業日

8月13日(火)～8月15日(木) 学校閉庁

8月24日(土) PTA美化作業